

中央分離帯開口部等の狭い隙間からの漏水（つらら）を防止します。



■従来の対応

従来はゴム版などで止水対策を行ってきた。

■従来の工法の課題

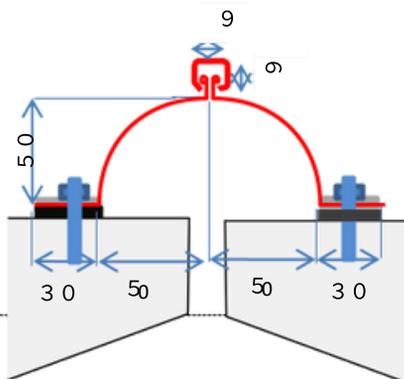
- ① ゴム等の材料は紫外線に弱く、長期の止水はできない。
- ④ 伸縮装置部の止水は不可能。



■ステンレスを加工して上部工の動きに追従できる構造

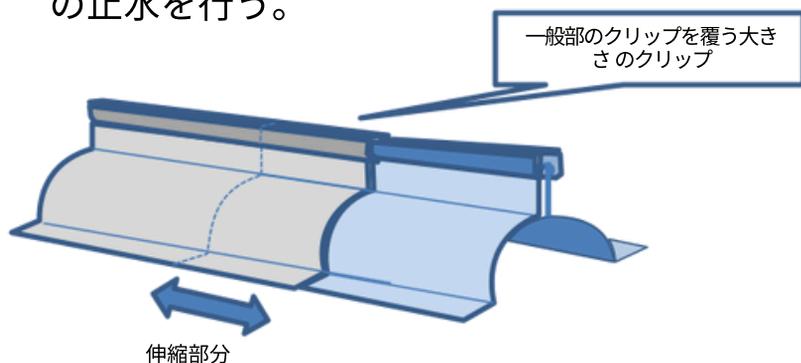
特徴

- ① 溶接構造を持たないステンレスで構成されているので長期耐久性がある。
- ② 縦、横、上下の構造物の動き（地震、振動、温度変化等）に追従できる。
- ③ 施工性に優れる。
- ④ 伸縮装置区間の止水が可能。



■ 構造の特徴

- ①加工されたステンレスは開口部の両端に別々に固定される。
- ②頂部を円形加工してあり、この部分にクリップで留めて両部材をヒンジ構造で結ぶ。
- ③部材の長さは90cmで3cmの重ね合わせの区間を設けて耐久性に問題が生じやすい溶接によらない接続方法。
- ④端部は蓋をして横からの雨水の浸入を防止。
- ⑤部材の重ね合わせ長さを伸縮量以上とすることで、伸縮装置部の止水を行う。



■ 施工状況写真



お問い合わせ：株式会社 **松下製作所**
〒357-8691 埼玉県飯能市双柳263-1

TEL:(042)972-5131

FAX:(042)972-6331

URT <http://www.matsushitaworks.co.jp> E-mail suzuki-yuji@ba2.so-net.ne.jp